

第27号

発行日
2022. 11. 8

*Super
Highway*

JR東労組バス関東本部



JR東労組ホームページ

バス関申
第4号

「2022年度年末手当等に関する 申し入れ」の第1回交渉を行う!

【趣旨説明】

- ① 昨年の同時期よりも収入は着実に回復をしている。それは、要員不足の中において、圧縮行路での運行や休日勤務、新たな貸し切り輸送等を内勤者も含めて担ってきた結果である。また、車両係においても他会社の車両の点検整備等により増収とコスト削減を実現している。更に要員がひっ迫する支店へ乗務員や車両係が助勤で対応し、輸送を確保してきたことも業績回復へ繋がっている。
- ② 将来への不安や収入減により生活が成り立たないとの理由で、離職の道を選ぶ社員が今後も後を絶たない現実もある。
- ③ 10月から様々な制限が無くなり、全国旅行支援も始まったことで、バスの需要が高まることが期待される。JRバス関東は10月1日に早期黒字達成への体制を再構築していくことを社員に周知しているが、目標達成には社員の仕事に対するモチベーションの向上、何よりも離職の流れを止めることが必要不可欠である。

【会社認識】

- ① 要員不足の中において、圧縮行路での運行や休日勤務、新たな貸し切り輸送等を内勤者も含めて担ってきた結果という事。車両係も他会社の車両の点検整備等により増収とコスト削減を実現している点。乗務員や車両係が助勤で対応し、輸送を確保してきたことも業績回復へ繋がっている事に関しては、貴側との認識の違いは無い。社員に還元をするべきとの認識は持っている。
しかし、一昨年・昨年の大きな赤字に続き、今年度も第2四半期で約10億の赤字という状況から、年末手当を考える上では、これまでと同様に0からのスタートとなるが、0回答とする考えはない。
- ② 期末手当に関しては、収益に対して社員への還元という基本的な考えのもとで、社員と家族の生活に配慮して決めていく事変わらない。年末手当が生活給となっている認識は持っている。
- ③ 今年度の経営目標は2億円の黒字としてきたが、10億の赤字をこの先の半年で2億の黒字にすることは不可能。下方修正するしかない。
「離職する人を出さない」という思いで、この先もやっていく事には変わりはない。

**赤字・コロナ禍においても組合員・社員の雇用と生活を守るために、
JR東労組バス関東本部は精力的に団体交渉を行います!**